

学習課題(小学校5年生)



【社会】

<学習内容> 「2学期のまとめ」

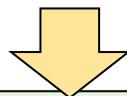
◆教科書⑨96～123 ページ、⑩2～69 ページの内容について、取組シートやノートにまとめよう。

(1) つくり育てる漁業や自動車工業の仕事について、下の表にまとめてみよう。

つくり育てる漁業	自動車工業
<p>■ (①) たまごから成魚になるまでいけすなどで育てること</p> <p>■ (②) 人間の手で魚や貝のたまごをかえて川や海に放流し、自然の中で育ててからとること</p>	<p>■ (③) ライン) この一定の速さで進むラインの上で、作業を分担することで正確に自動車を組み立てます。</p> <p>■ (④) 組み立て工場から注文を受けて部品をつくる工場とその工場からさらに細かい部品の注文を受けて仕事をする工場</p>

(2) 水産業や自動車工業では、どのようにくふうをしていたかについて、下の表にまとめてみよう。

水産業のくふう	自動車工業のくふう
<p>■ (①)を使って、魚の群れを見つけている。</p> <p>■ 新鮮な魚を出荷するために、(②)の付いたトラックで全国へ運ばれる。</p>	<p>■ プレスやようせつなど大きくて重たい部品を取り付けるときは(③)や(④)を使っている。</p> <p>■ 完成した自動車は(⑤)や(⑥)で国内や世界へ運ばれる。</p>

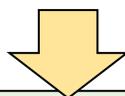


くふうしていることで、共通点はありますか？

自分の考えをノートや取組シートにまとめてみましょう。

(3) 日本の食料生産（水産業）と工業生産のこれからの課題について、下の表にまとめてみよう。

食料生産（水産業）の課題	工業生産の課題
<p>■ 1970年代の後半ごろから (①) 漁業の漁獲量が減っている。各国の魚をとる範囲である(②) が決められたことと関係がある。</p> <p>■ (③) 漁業や(④) 漁業も1990年ごろから減っている。漁場の環境の悪化や(⑤) などにより、魚などの資源そのものが少なくなったことが原因である。</p> <p>■ 漁業で働く人の数が年々減ってきている。特に(⑥) が少なくなっている。</p>	<p>■ 資源にとぼしい日本は、工業生産に使う原材料を(⑦) にたよっている。</p> <p>■ 工業生産や生活に使う(⑧) の確保も課題と考えられる。</p> <p>■ 自動車は、外国でもたくさん作られており、(⑨) が増えている。</p> <p>■ 製造業で働く人の数が(⑩) きている。</p> <p>■ 未来のことを考え、環境にも配りよした(⑪) 可能な社会を目指すことが求められている。</p>



これからの課題に、共通点はないかな？

自分の考えをノートや取組シートにまとめてみましょう。

(4) 食料生産（水産業）と工業生産の課題を解決するために、どのような取組をしていけばよいですか。自分の考えを取組シートやノートに書いてみよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・ 2学期はじめに学習した「水産業」と後半に学習した「工業」について、私たちの生活に果たす役割、働く人の工夫や努力、今後の課題などを比較・関連させながらまとめていくことで、学びが深まります。
- ・ また、まとめを通して、「どちらの産業にも当てはまる共通点はあるかな？」など問い、話し合うことで、わたしたちが暮らす社会を見る目がさらに育ち、大変効果的です。